



2023年3月期第2四半期 決算概要について

日精樹脂工業株式会社
2022年11月

2023年3月期第2四半期 業績の概要

2023年3月期第2四半期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 純利益
2023年3月期 第2四半期	24,977 (20.0%)	1,601 (30.9%)	1,707 (42.4%)	1,259 (△20.5%)	64.56円
2022年3月期 第2四半期	20,822 (9.3%)	1,223 (246.8%)	1,198 (196.5%)	1,583 (493.7%)	81.19円

売上

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響によりアジア地域では需要に停滞が見られたものの、国内・欧米地域では自動車関連を中心に需要が堅調に推移したこと等から、売上高は前年同四半期比20.0%増の249億7千7百万円となりました。

利益

- ・ 主力である射出成形機の需要が堅調に推移したこと等から営業利益は16億1百万円(前年同四半期比30.9%増)となりました。この結果、経常利益は17億7百万円(前年同四半期比42.4%増)、四半期純利益は12億5千9百万円(同20.5%減)となりました。

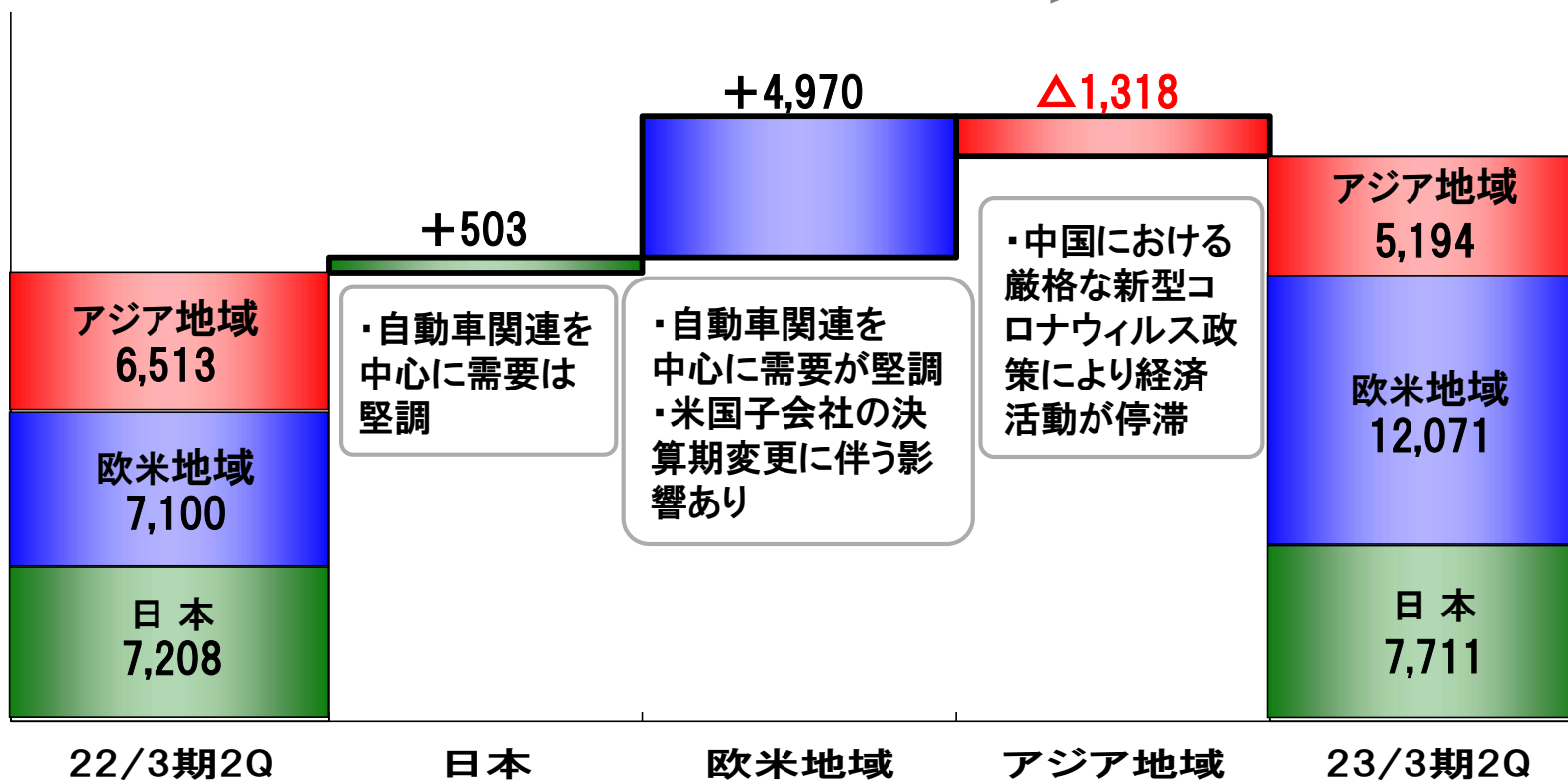
連結業績概要【前年同期比】

単位：百万円、比率%

	2022年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 第2四半期実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	15,941	19,157	3,216	20.2
周辺機器	841	908	67	8.0
部品	3,083	3,858	775	25.2
金型・中古機等	955	1,052	96	10.1
売上高合計	20,822	24,977	4,155	20.0
売上総利益	6,691	8,129	1,437	21.5
一般管理販売費	5,468	6,527	1,059	19.4
営業利益	1,223	1,601	378	30.9
経常利益	1,198	1,707	508	42.4
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,583	1,259	△324	△20.5

連結売上高(セグメント別)増減 [2022/3期2Q⇒2023/3期2Q]

外部顧客への売上高の増減

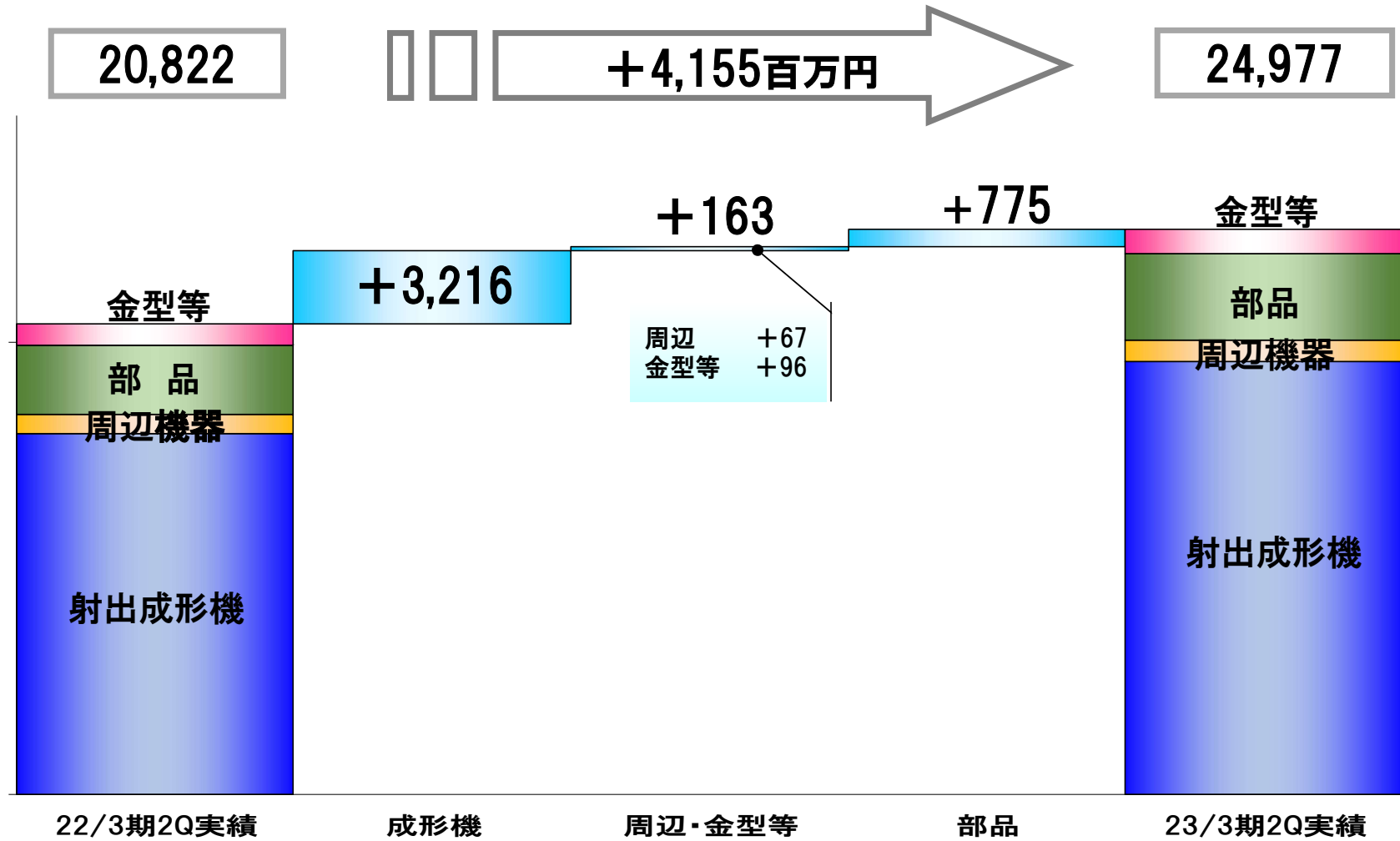


・自動車関連を中心に需要は堅調

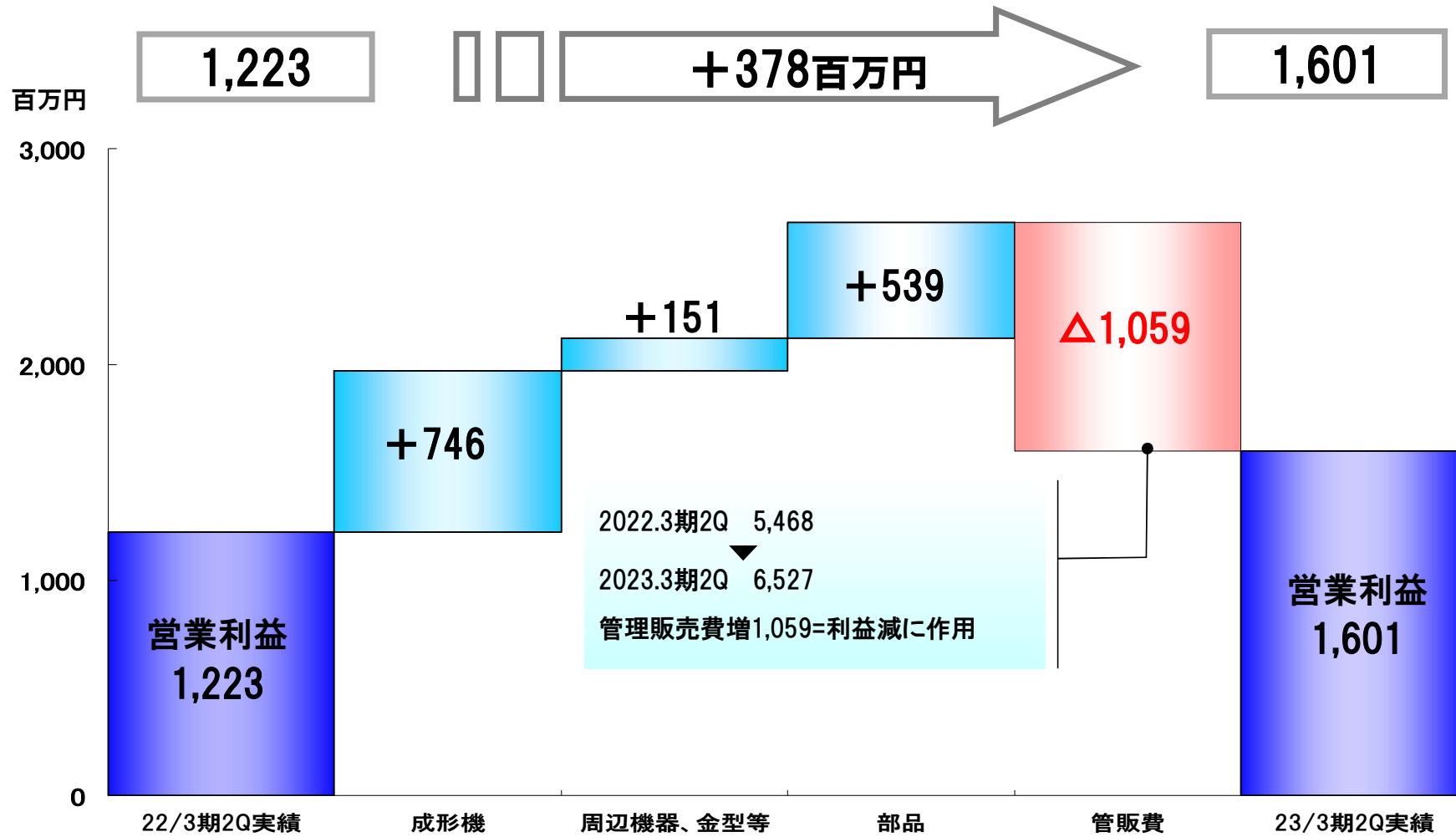
・自動車関連を中心に需要が堅調
・米国子会社の決算期変更に伴う影響あり

・中国における厳格な新型コロナウイルス政策により経済活動が停滞

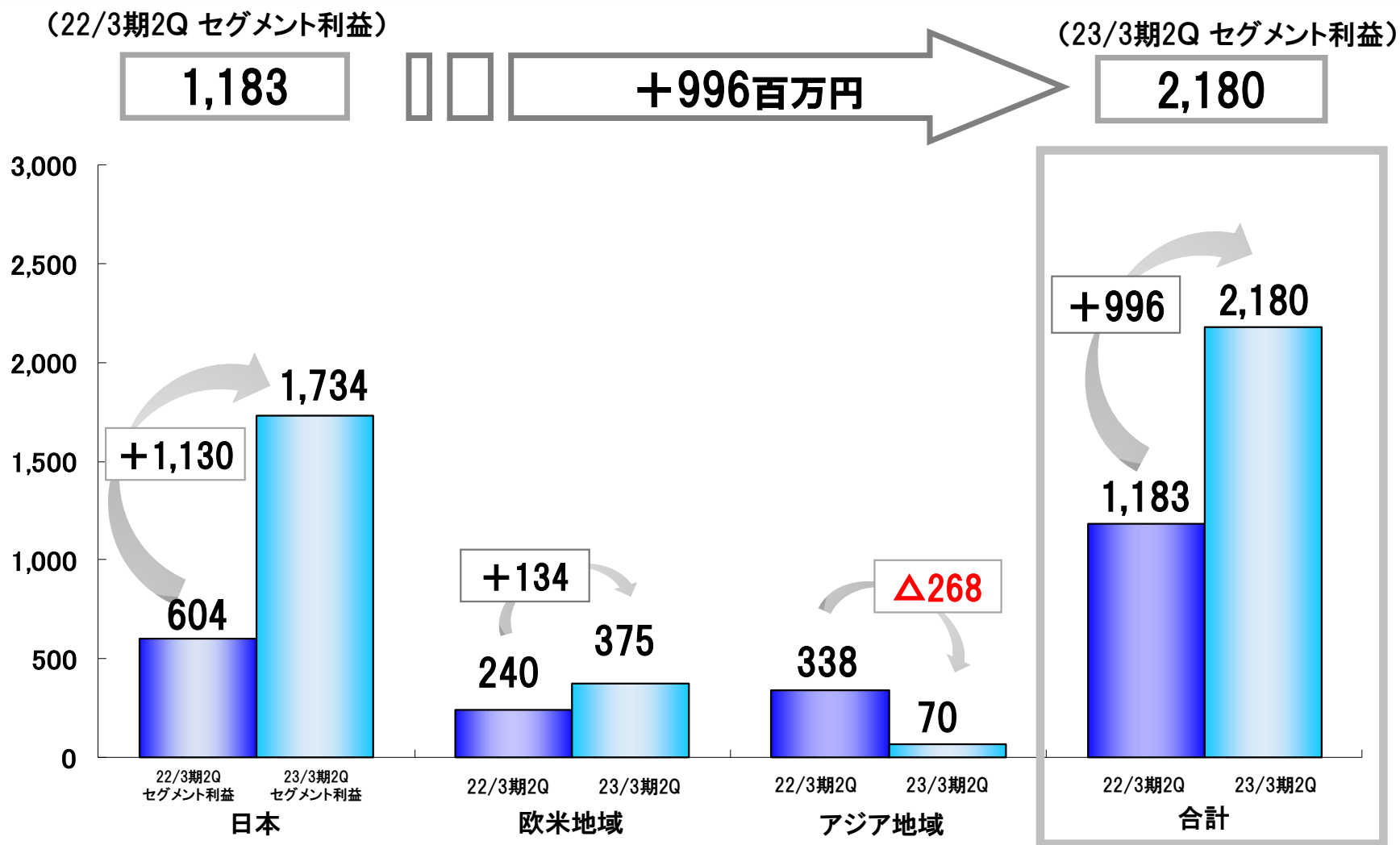
連結売上高(製品別)増減 [2022/3期2Q⇒2023/3期2Q]



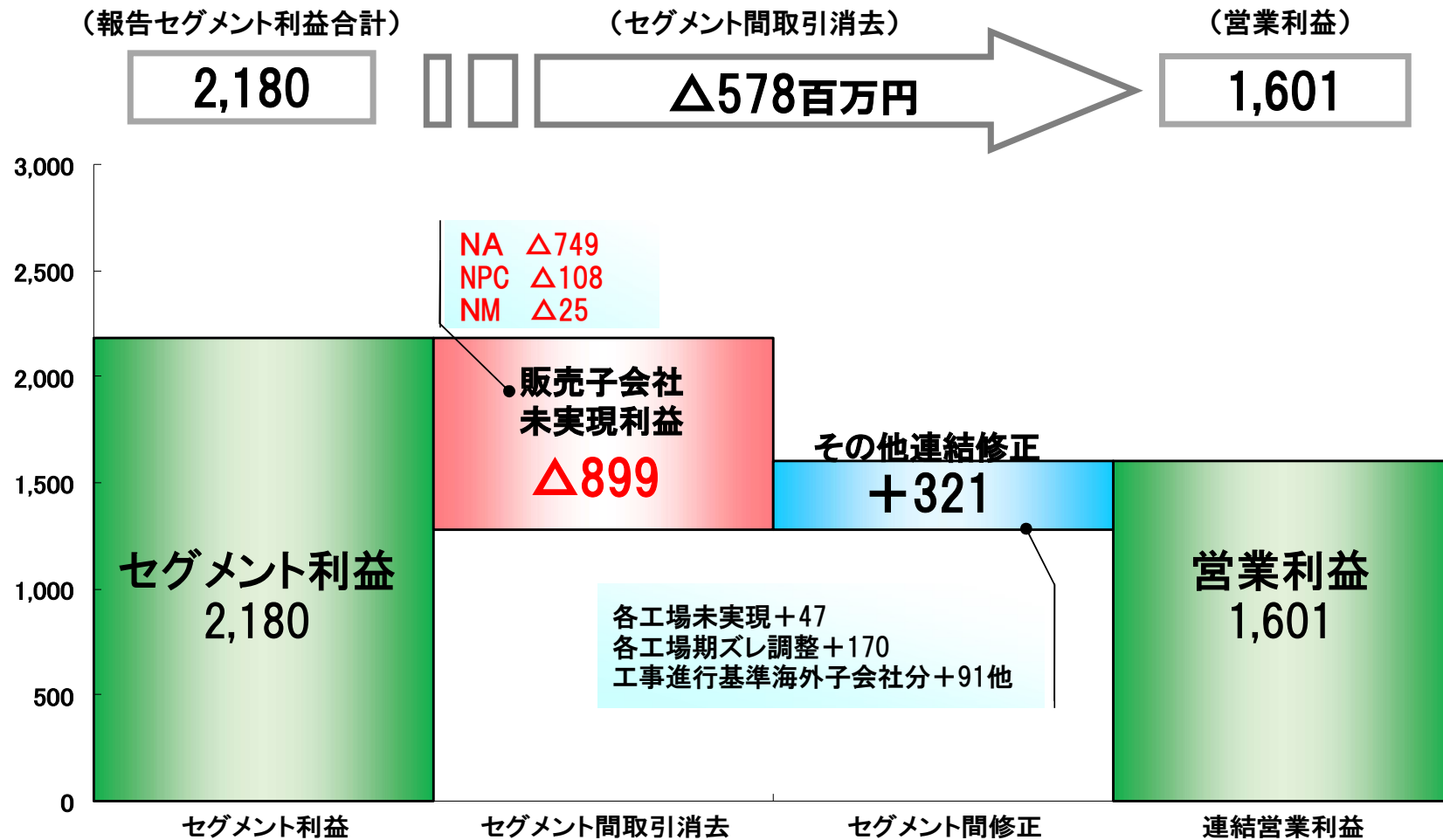
連結営業利益(製品別)増減 [2022/3期2Q⇒2023/3期2Q]



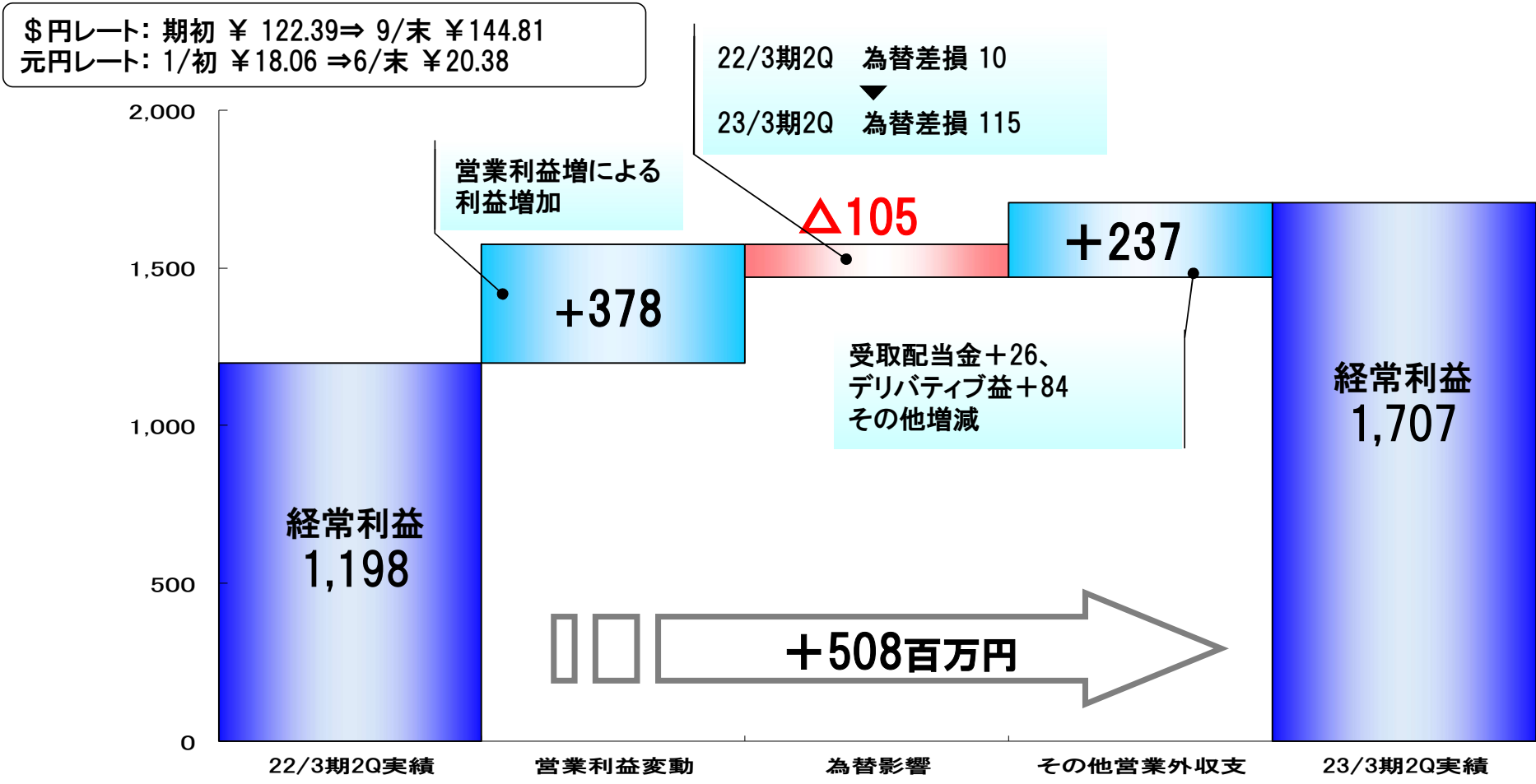
セグメント利益増減 [2022/3期2Q⇒2023/3期2Q]



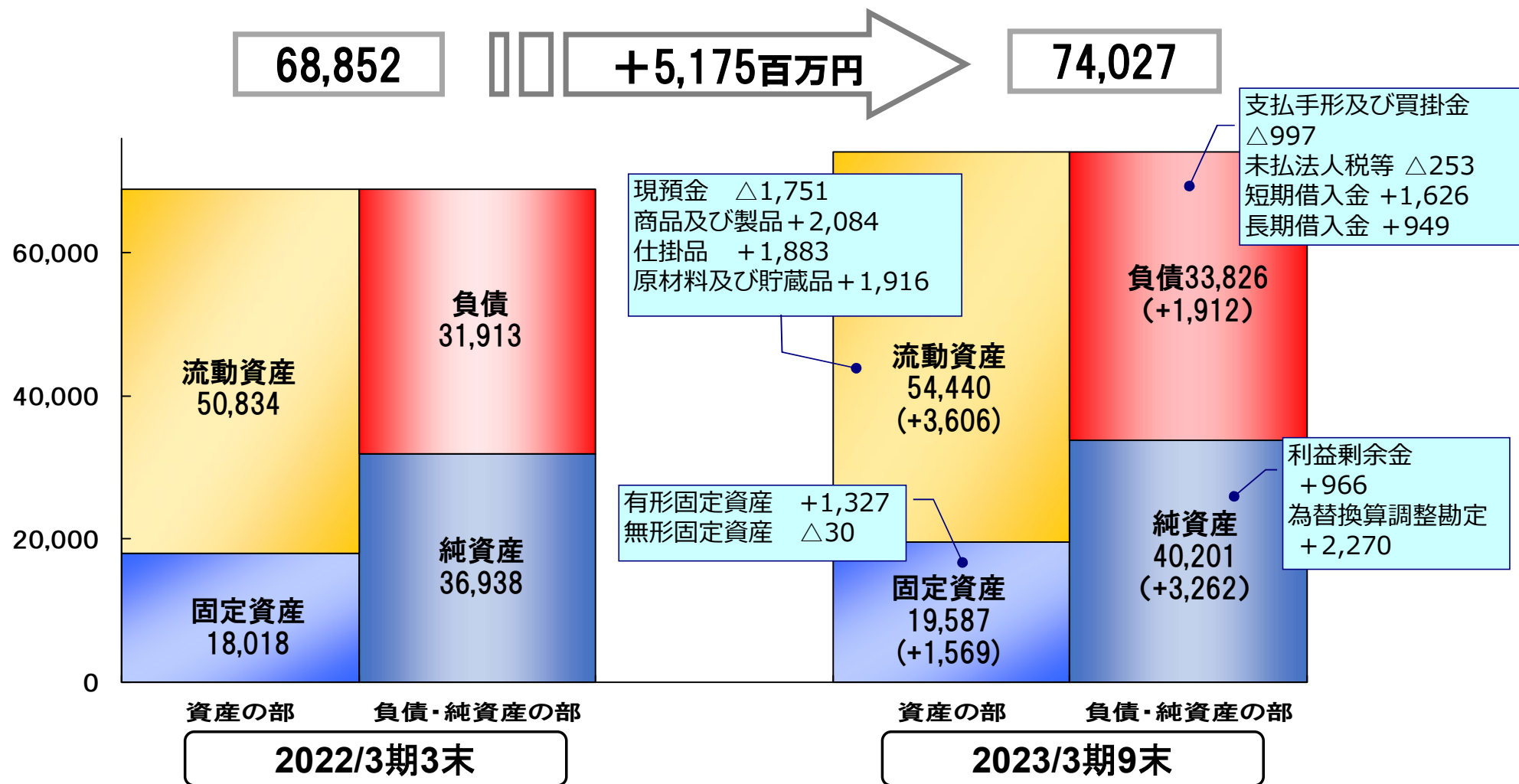
セグメント利益 ~セグメント間取引消去



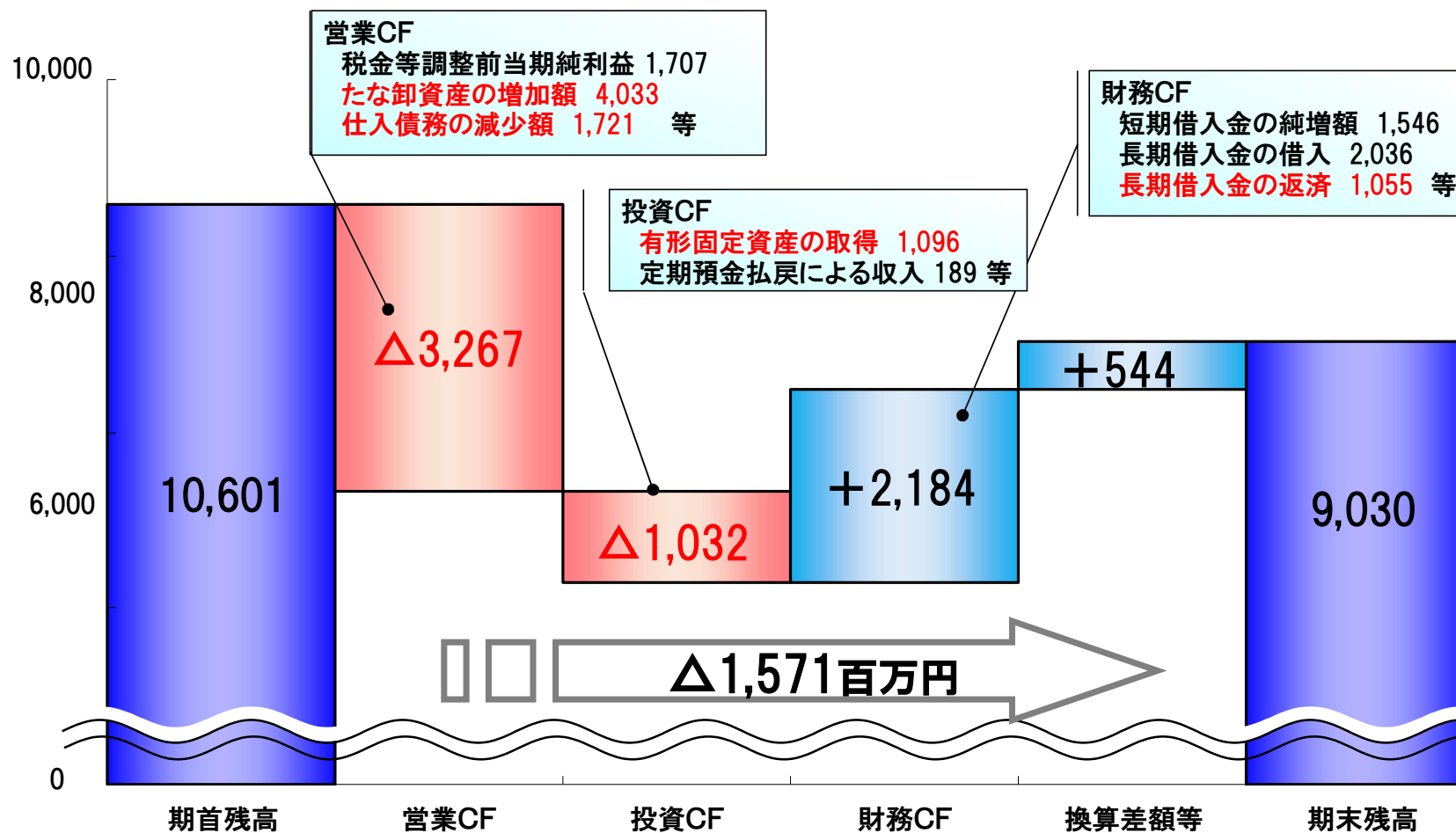
連結経常利益の増減 [2022/3期2Q⇒2023/3期2Q]



連結貸借対照表の増減 [2022/3期3末⇒2023/3期9末]



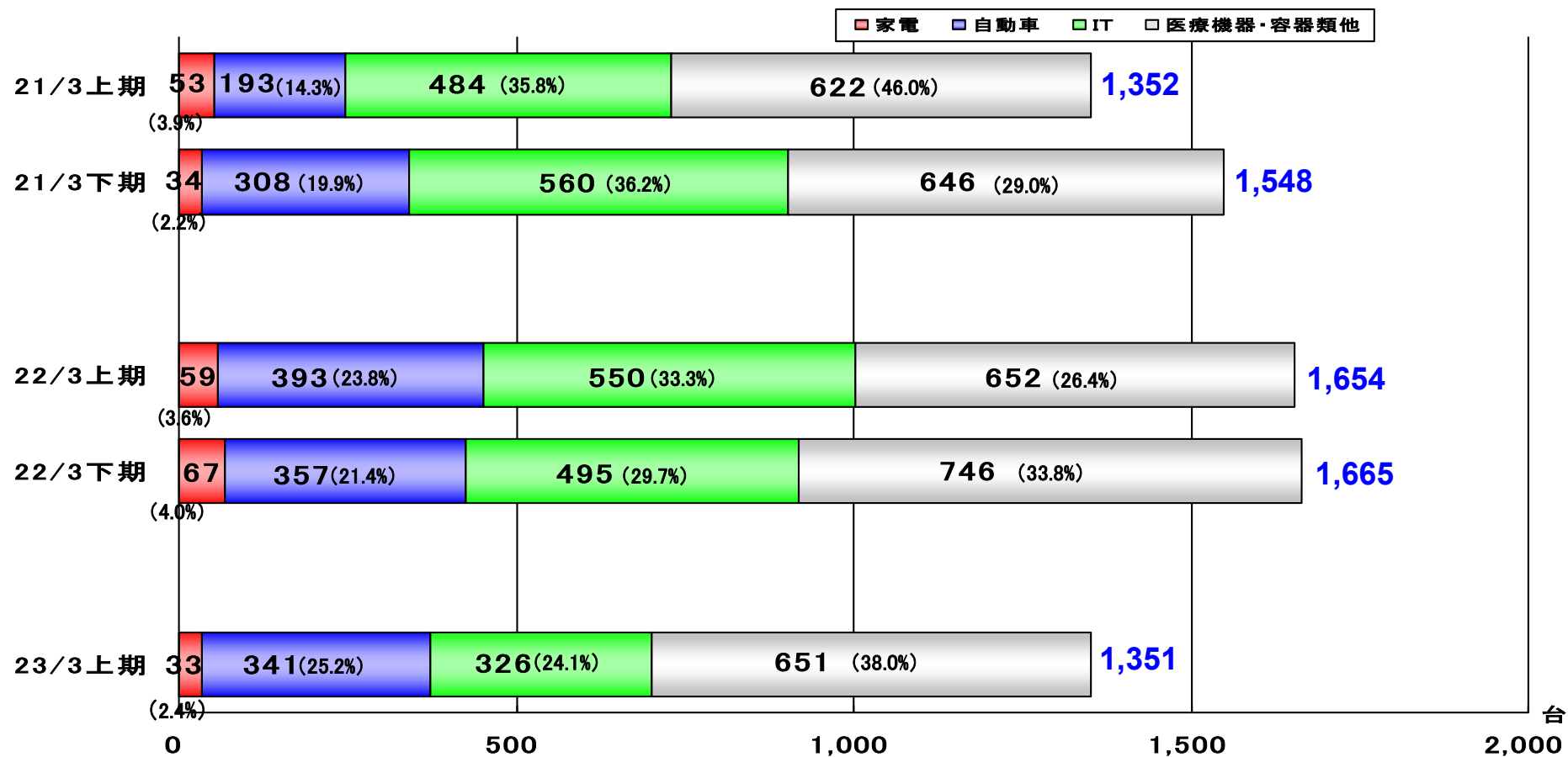
連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～



射出成形機の需要先別出荷台数推移 (当社)

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、出荷の大半を占めている。

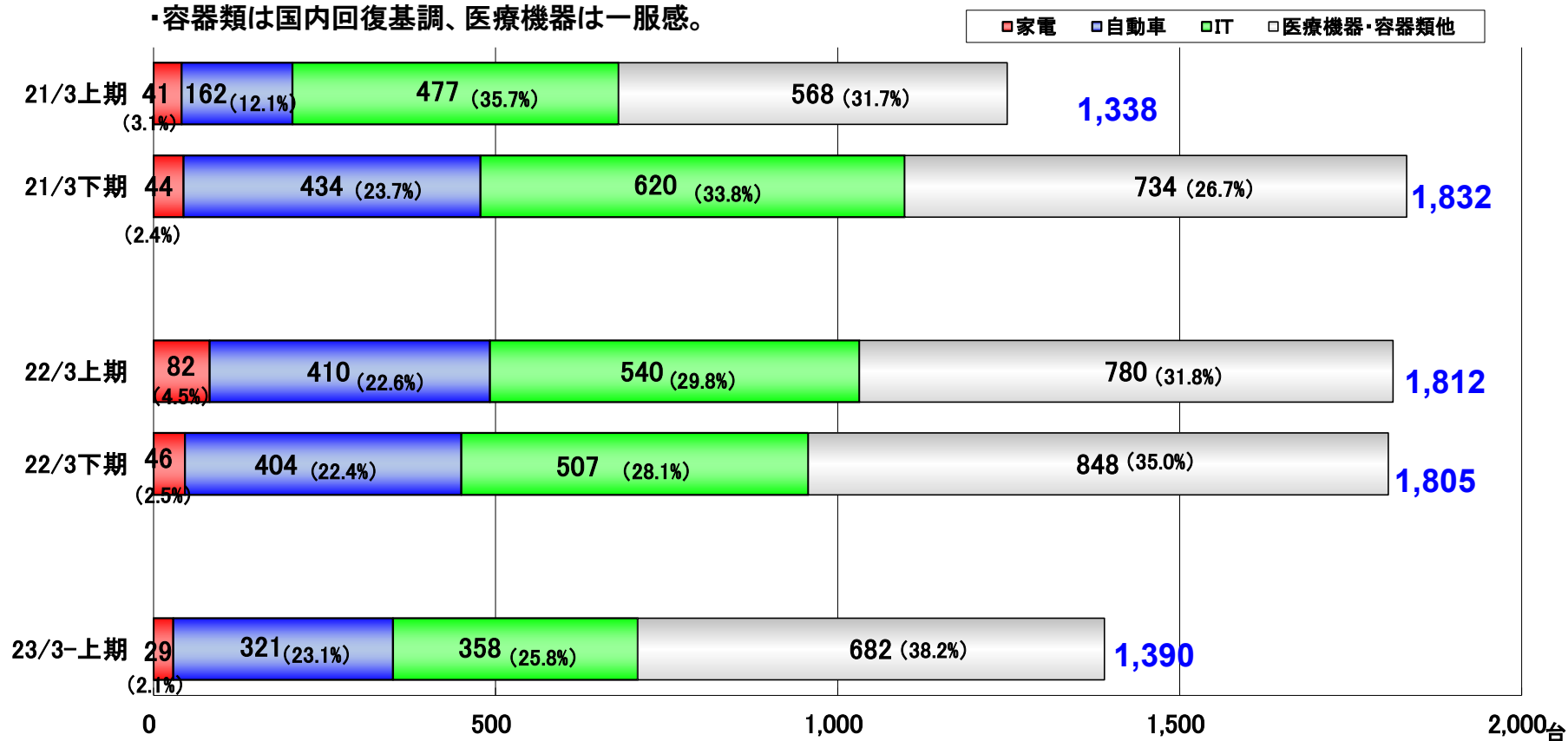
- 2023/3期2Q
- 自動車…国内・海外共に横ばい
 - IT…東アジア中心に大きく減少
 - 医療機器…国内横ばい、海外減少
 - 工業部品…国内で底堅い動き



射出成形機の受注推移

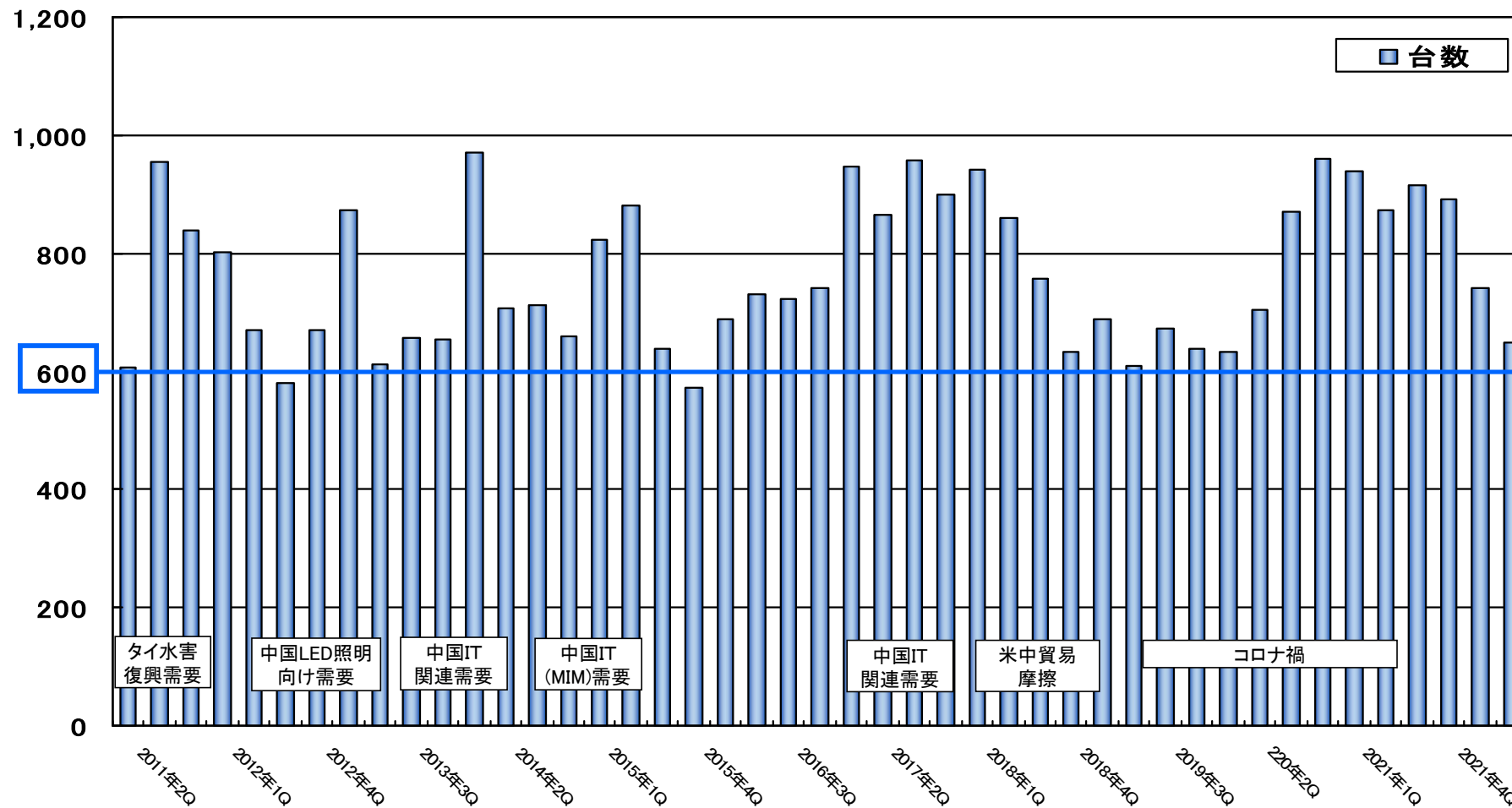
射出成形機の需要先別受注台数推移 (当社)

- ・23/3期上期の受注台数は1,390台。前年同期比23.3%減。
- ・自動車は台数ベースでは22/3下期に比べ約20%減。
- ・IT関連は東アジア向けを中心に停滞。
- ・容器類は国内回復基調、医療機器は一服感。



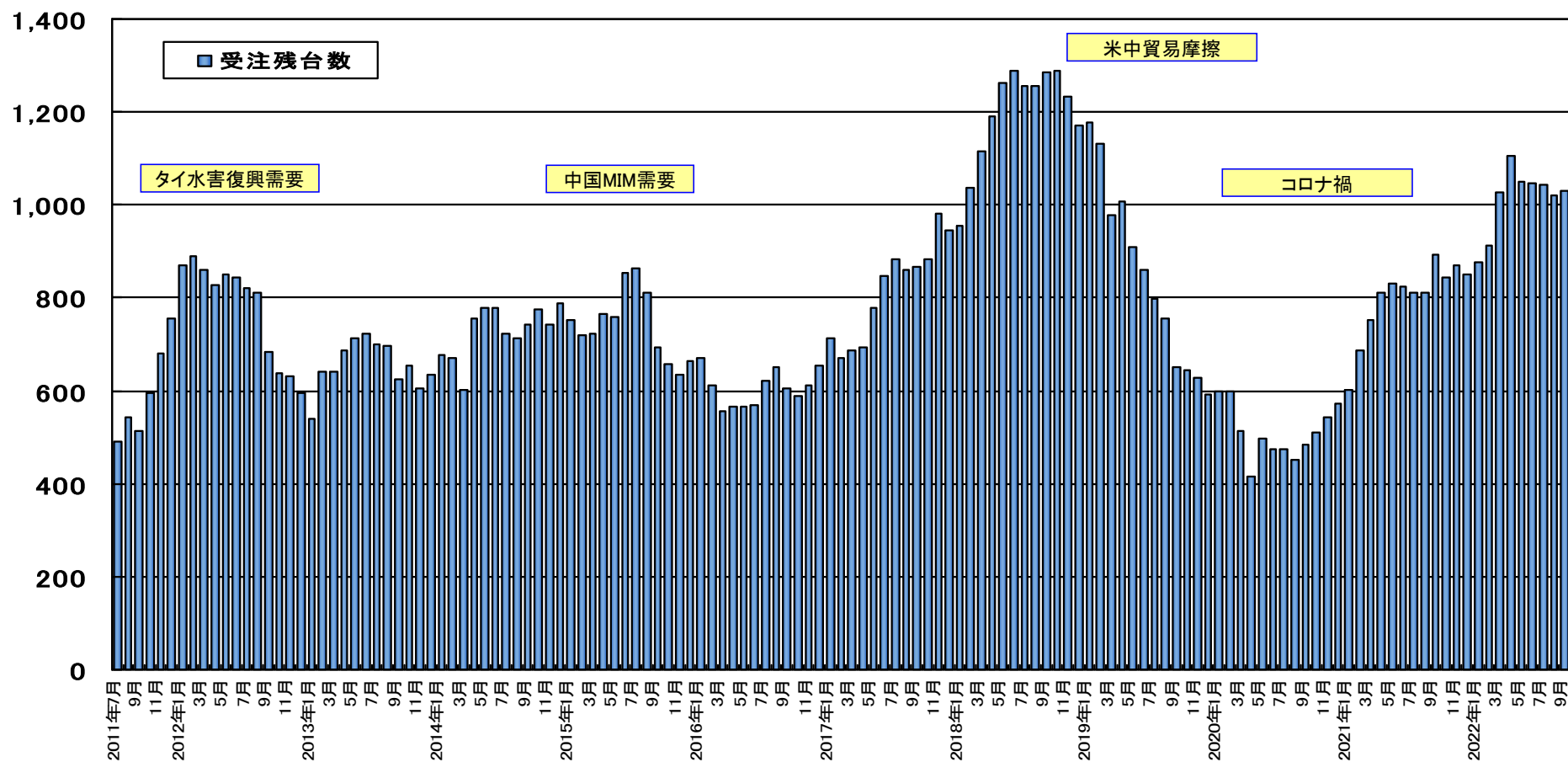
射出成形機の四半期別受注台数推移(当社)

2020年2Q頃より、月度受注は200台前後の水準から300台前後の水準までに回復したものの、2022年に入り、月度受注台数はやや停滞し、2Qでは200台強で推移。



射出成形機の月別受注残台数推移(当社)

新型コロナの影響により減速したが、2020年8月頃を境に増加に転じている。
国内外で自動車関連の需要を中心に受注が積み上がり、台数・金額ともに高原状態にある。



2023年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2023年3月期 連結損益計画

単位：百万円、比率%

	2022/3期	2023/3期		対通期計画 進捗率%
	実績	2Q実績	通期計画 (2022.5.13開示)	
売上高	48,731	24,977	51,000	49.0%
営業利益	2,577	1,601	3,000	53.4%
(利益率)	5.3	6.4	5.9	—
経常利益	2,940	1,707	3,100	55.1%
(利益率)	6.0	6.8	6.1	—
当期純利益	2,680	1,259	1,900	66.3%
(利益率)	5.5	5.0	3.7	—

連結設備投資・研究開発計画と2Q実績

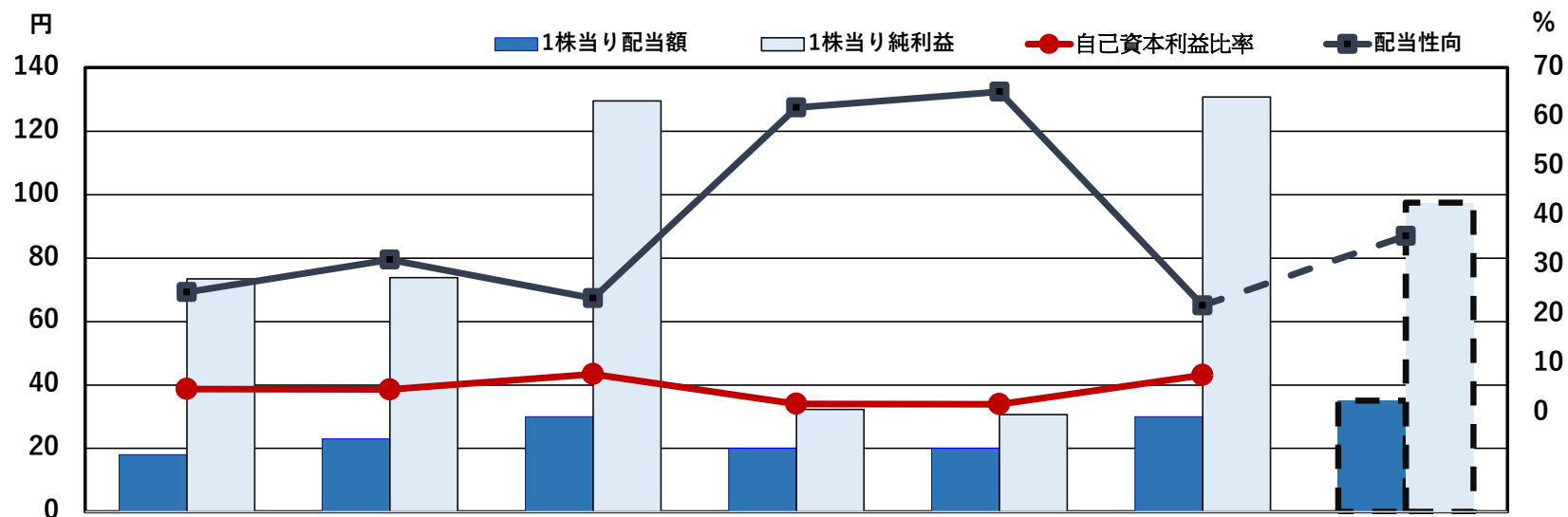
単位：百万円

	2023年3月期 2Q実績	
主な設備等	本社	
	ファイルサーバー更新(ソフトウェア)	8
	調達IFS改造他(ソフトウェア)	5
	第7工場塗装ブース、給排気フィルタ設置等	6
	米国工場増築(手付金 建設仮勘定)	614
	メタルワークス 第2工場屋上防水工事	16
	ホンマ設置、五面加工機レトロフィット追加工事	121
	ホンマ工場再編、クレーン設置、工場照明LED化等	82
その他、維持投資等	137	
有・無形固定資産増加額		989
減価償却費		773
研究開発費		218

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2023年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間20.00円(普通配当15円・記念配当5円含む)、期末15.00円)を予定。



	2018/3月期	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期(予定)
1株当り純利益	73.85円	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	97.42円(予)
1株当り配当額	23.00円	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円(予)
中間配当	13.00円	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円
期末配当	10.00円	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円(予)
配当性向	31.1%	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	35.9%(予)
自己資本利益率	4.8%	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	—

トピックス

NISSEI RED EXHIBITION in Akashi 2022” EVシフトが進む自動車業界をメインターゲットとし、車載部品の樹脂化・軽量化ニーズ(金属代替等)への用途提案・開拓のため熱硬化性樹脂成形に特化したプライベートフェアを開催。
また、初の試みとして、熱硬化性樹脂メーカーの住友ベークライトとの共同開催を実施しました。



#熱硬化性専用
#大型・長繊維化対応
#ダウンサイジング
#2つの射出コンプレッション技術

新ハイブリッド式高性能射出成形機
FWX760 III-130BK



#熱硬化性専用
#インサート成形
#多彩な熱硬化性樹脂への対応

新ハイブリッド式高性能射出成形機
FNX110 III-18AK



ハイブリッド式堅型射出成形機
TNX100R III 12V

#各種インサート成形
#低圧成形システム
#熱硬化性樹脂への対応

“Inclusive Growth—社会を真に豊かにするプラスチックの新しい価値を創造する”をテーマにドイツのプラスチック総合展示会「K2022」に、グローバル市場に向けた成形ソリューション技術を出展。



欧州およびドイツにおける食品接触材料規則に適合



ポリ乳酸(PLA)と木粉のコンポジット材料によるカトラリー（スプーン、フォーク、ナイフ）の成形実演



PLA 100%のボトル成形





日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
